

終わらない夏

こう毎回、やれ忙しい、それ大変だ、たればんだ、などと言っているとだんだん自分でもウソっぽく感じられてくる。

しかしながら、本当にこの夏は悲惨だった。ていうか、この文を現在完了進行形もしくは継続用法の現在完了で表現できない日本語を呪いたい気分である。

気がついたら「+3日」になっていた。自分の意識では「+1日」だったが、どういうことだろう。そうか15日は土曜日で昨日まで連休だったんだ、などと誰に対して言っているかわからない、しかも何を言っているのかもわからない弁明に、もっと自分を好きになれるかもしれないとわずかな希望を胸懷に覚えた。

今、とあるチャンネルの夕方のニュース。トップは長嶋夫人死去。2番目、母子殺人公判。3番目、自民党総裁選。4番目、殺人。その他、告別式、殺人、遺体発見、殺人だったと思う。相変わらず死ぬニュース大好き。なるほど命は大事だ。

長嶋夫妻新婚（婚約？）時代、亜希子夫人がキャンプ地訪問。殺到した記者に、長嶋が「プライベートのことなので」と取材を断ろうとして、誤って「デモクラシーのことなので」とのたまったことは、日本の英語受容史上さん然と輝く史実である。「プライバシー」などという洋物の概念はまだ根付いていなかったのである。それでも果敢に横文字を振りかざそうとした長嶋に敬意を表そう。なるほど民主主義も大事だ。

その後も「プライバシー」に相当する大和言葉も漢語も生み出されなかった。長嶋の言動はその予兆だったのである。

さすが、戦後ニッポンのヒーロー長嶋茂雄。学校で英語の先生に「"I live in Tokyo."を過去形にしなさい」と言われて、「"I live in Edo (江戸)"」と答えただけのことはある（実話らしい）。なるほど Tokyo の過去形は Edo と考える歴史認識も大事だ。

余裕がなくて虎ならぬ巨人の威を借りたネタで書いてしまった。ご寛恕のほどを。